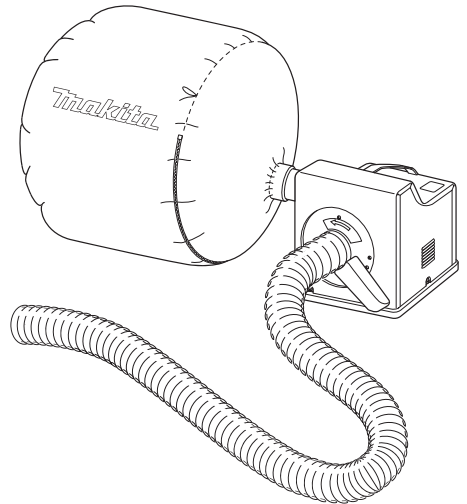


# Makita

## 取扱説明書

## 集じん機

モデル **411** (P)  
(粉じん用)



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



## 主要機能




主要機能	モデル	411 (P)
電 動 機		直巻整流子電動機
電 圧		単相交流100V
電 流		11A
周 波 数		50-60Hz
消 費 電 力		1,050W
最 大 風 量 *		8.7m <sup>3</sup> /min (m <sup>3</sup> /分)
最 大 真 空 度 *		5kPa(510mm水柱)
ダストバッグ容量		100L
機 体 寸 法		幅287mm×奥行285mm×高さ280 mm
質 量		9.3kg

(\*数値はホースとダストバッグを取り付けた状態での値です。)

- ・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

### 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

### 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

## ⚠ 警告

### 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
  - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
  - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
  - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
  - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
  - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

### 電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
  - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
  - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
  - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
  - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
  - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
  - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

## ⚠ 警告

### 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
  - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
  - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
  - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
  - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
  - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
  - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

### 電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
  - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

## ⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・ 本製品の調整
  - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
  - ・ 保管、または修理
  - ・ 電動工具から離れるとき
  - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
  - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
  - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
  - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
  - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
  - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
  - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
  - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
  - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
  - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

## ⚠ 警告

### 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
  - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
  - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
  - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
  - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
  - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

### その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。  
<異常・故障例>
    - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
    - 電源コードに深いキズや変形がある。
    - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
    - 焦げくさい臭いがする。
    - ビリビリと電気を感じる。
  - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
  - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
  - 感電の恐れがあります。

## ⚠ 警告

### 5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm <sup>2</sup>	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### ●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

# 集じん機安全上のご注意

●先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB088-1.doc

## 警告

### 1. 必ず接地（アース）してください。

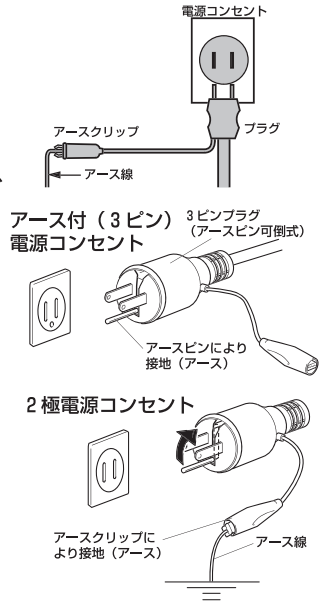
- ・故障や漏電の時、感電する原因になります。
- ・接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- ・3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。
- ・アース付（3ピン）電源コンセントの場合3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）
- ・2極電源コンセントの場合アースクリップをアース線に接続してください。
- ・アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- ・テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
- ・接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されることをお奨めします。
- ・漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

※労働安全衛生規則 第333条・第334条

電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条

### 2. アース線をガス管に接続しないでください。

- ・爆発の恐れがあります。



## ⚠警告

3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを、使用してください。
  - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
5. 灯油・ガソリン・火のついた煙草の吸いからなどを吸わせないでください。
  - ・火災の原因となります。
6. 金属の切断作業及び研削作業中に発生する研削火花や金属粉などを吸わせないでください。
  - ・火災やけがの原因となります。
7. 木片、金属、石及び釘、ガラスなどの鋭利な物を吸わせないでください。
  - ・けがや故障の原因となります。
8. 本機の吸込口や排出口には手を入れないようにしてください。
  - ・けがの原因になります。
9. 吸込口や排出口をふさいで運転しないでください。
  - ・モータが焼損し、火災の原因になります。
10. ホースの着脱は、ファンの回転が完全に停止してから行なってください。
  - ・回転中に行ないますと、けがの原因になります。
11. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。

## ⚠注意

1. 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
  - ・不安定な状態では、けがの原因になります。
2. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ・確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. 集じん作業前に必ずダストバッグが本体に取り付けられていることを確認してください。
  - ・けがの原因になります。

## 注

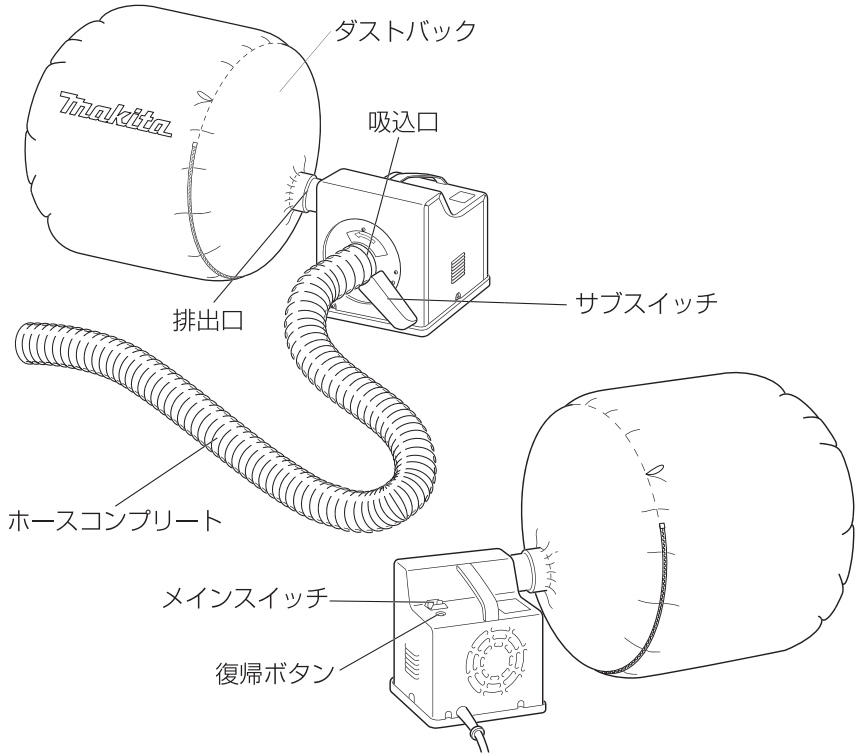
電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で支障なくご使用していただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (导体公称断面積)	銘板記載の定格電流値		
	～5A	5～10A	10～15A
0.75mm <sup>2</sup>	20m	—	—
1.25mm <sup>2</sup>	30m	15m	10m
2.0mm <sup>2</sup>	50m	30m	20m

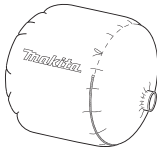
- つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。
- 200V仕様機の場合は、上表の2倍の長さが限度となります。

# 各部の名称および標準付属品

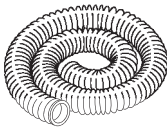


## 標準付属品

### ・ダストバッグ



### ・ホースコンプリート(2.5m)

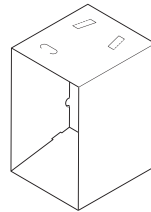


### ・カバー

(ホースの吸込側に取り付けてください。)

### ・フード

(電動工具での作業中に発生する石工等の粉じんを集じんする場合に使用してください。本機の梱包箱を利用できます。)

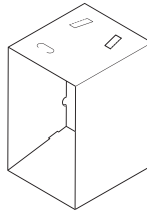


## 別販売品のご紹介

・別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

### ・フードセット品

(電動工具での作業中に発生する石工等の粉じんを集じんする場合に使用してください)



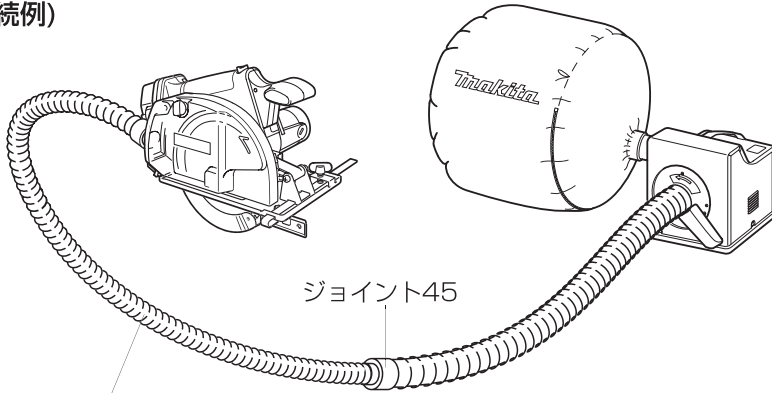
・弊社の防じんマルノコ、カッタ、コンクリートカンナなどの石工用電動工具の強制吸じんにご利用いただくために、各種ジョイント、ノズル、ホースを用意しております。

・本機の吸込口、排出口の形状はモデル410と同じです。

適用モデル ( )内は旧モデルです。	ジョイント名	—		
防じんマルノコ 5005KB,5023KB 5025KB,5027KB 5034KB,5035KB 5044KB,5045KB 5047KB 充電式防じんマルノコ 5036D 防じんカッタ 4123KB	右記ホースを直接本機に接続(ジョイント、ノズルは不要です)	口径38mm 口元テーパ式ホース 部品番号 192375-2 (2.5m)	ジョイント45	集じん機 411(P)
防じんカッタ 4103KBASP, 4105KB,4105KC, (4103KB)	エルボジョイント32			
4型カッタ 4104A	ノズル			
10型カッタ 4110B,4110C ALC用カッタ 4116 カッタ 4109S	右記ホースを直接本機に接続(ジョイント、ノズルは不要です)			
コンクリートカンナ PC9001,PC1100	エルボジョイント32			

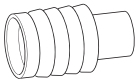
## 別販売品のご紹介

(接続例)



ホース（口径38mm口元テーパ式・2.5m）

・ジョイント45



### ジョイント45の使用方法について

#### 注

ホースを長くして使用する場合は、口径38mm口元テーパ式ホースは1本（2.5m）にとどめて、本機のホース（口径75mm）を長くしてお使いください。

使用できるホースの長さ

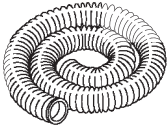
本機のホース（口径75mm）の使用長さは、吸込側、排出側合わせて12.5m以下でお使いください。

#### 注

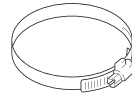
12.5m以上ですと、吸込力が低下し、粉じんの詰まりや漏れの原因になります。

## 別販売品のご紹介

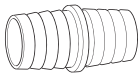
- ・ホース (2m・5m・10m)  
(口金なし、延長用)



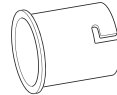
- ・クランプ90 (ホース固定用)



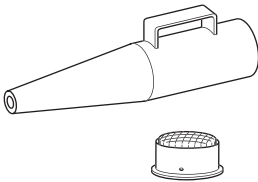
- ・ホースジョイント  
(ホース+ホースの接続用)



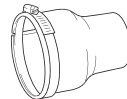
- ・バッグジョイントセット品  
(ホースの先端にダストバッグが取り付きます。ホースコンプレータ (2.5m) と合わせてご使用ください)



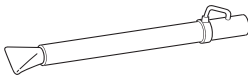
- ・ノズル+カバー  
(ブロワ作業の際にお使いください)



- ・ジョイント100アッセンブリ  
(他社の木工機のフードφ100に接続できます)



- ・フローアノズルアッセンブリ  
(床にたまった切りくずなどの集じんにご使用ください)



# 使い方

## ⚠警告

付属品の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切りプラグを電源より抜いてください。

- ・プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

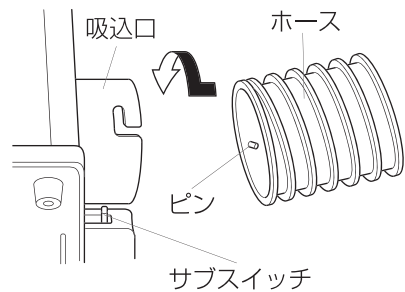
## ホースの取り付け方

## ⚠警告

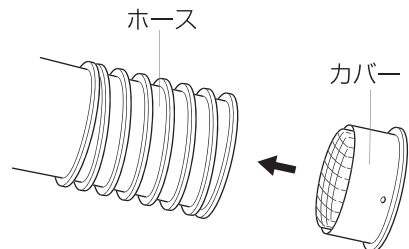
石作業等で発生する粉じんを集じんする際には、ホースの吸込側に必ずカバーを取り付けてください。

- ・石などを吸い込みますと飛散し、けがやファンなどの破損の原因となります。

- ・吸込口にホースを取り付けてください。  
付属のホースの金具（片側のみ）の内側についているピンと、本機の吸込口の溝を合わせて差し込み、時計方向に止まるまで回してください。

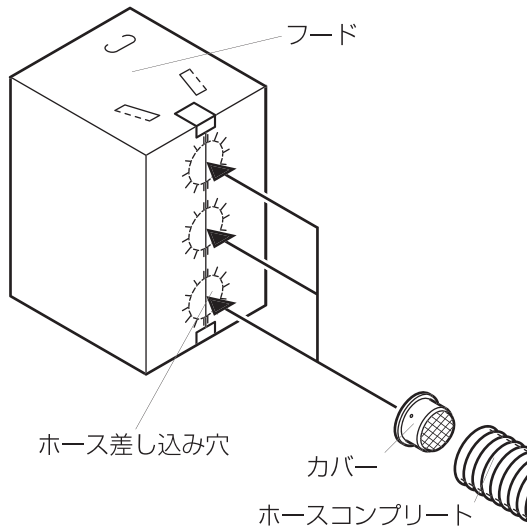


- ・ホースの吸込側にカバーを取り付けてください。



## 使い方

- ・フードのホース差し込み穴にホースを差し込んでください。  
(電動工具での作業中に発生する石工等の粉じんを集じんする場合。)



### 注

- ・吸込口の近くにあるレバーはサブスイッチです。サブスイッチは、吸込口にホースまたはカバーを取り付けると入ります。ホースがはずれたり、ゆるんだりしたときはサブスイッチが切れてモータが止まるようになっています。
- ・サブスイッチはテープや針金等で固定しないでください。
- ・ホースを長くして使用する場合は、吸込側、排出側合わせて7.5m以下でお使いください。
- ・7.5m以上ですと、吸込力が低下し、粉じんの詰まりや漏れの原因になります。

# 使い方

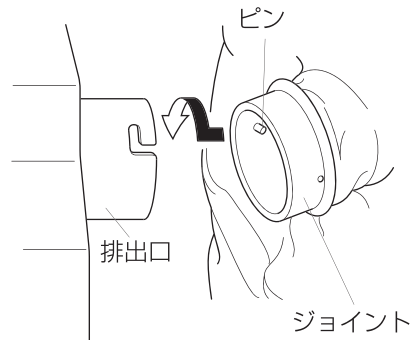
## ダストバッグの取り付け方

### ⚠警告

集じん作業前に必ずダストバッグが本体に取り付けられていること確認してください。

・けがの原因になります。

- ・ 排出口にダストバッグを取り付けてください。
- ・ 付属のダストバッグのジョイントを本機の排出口にホースと同じ要領で取り付けてください。



### 注

ダストバッグ取り付けの際は、ジョイント部近辺がよじれないようにしてください。

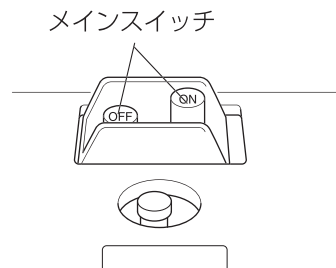
## スイッチの操作

### ⚠警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

- ・ 本機はメインスイッチと、サブスイッチが入ると作動します。
- ・ メインスイッチは「ON」のボタンを押すと入り、「OFF」のボタンを押すと切れます。



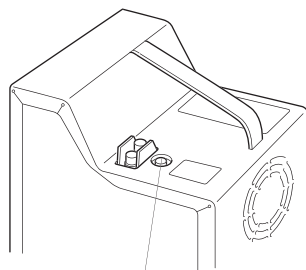
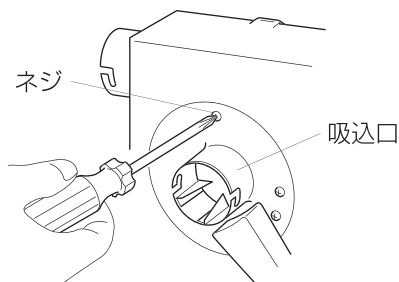
# 使い方

## オーバーカレントリレー（過負荷防止器）

- ・ 本機はファン等に異物が詰まって過負荷状態になりますと、オーバーカレントリレーが作動し、自動的に停止するようになっています。その際にはメインスイッチを切り、プラグを電源から抜いて、ホースまたは、ブロウ用のカバーをはずし、4本のネジをゆるめ吸込口をはずしてから、ファン等に詰まった異物を取り除いてください。
- ・ 再び使用するには、吸込口を取りはずしたときの逆の要領で取り付けてください。次に電源にプラグを差し込み復帰ボタンを押してから、メインスイッチを入れてください。

### 注

停止後20秒以上たってから復帰ボタンを押してください。



オーバーカレントリレーの復帰ボタン

## 使用方法

- ・ メインスイッチを入れて、集じん作業を行なってください。

### 注

ホースの吸込口を粉じんの中に埋めて使用することは避けてください。

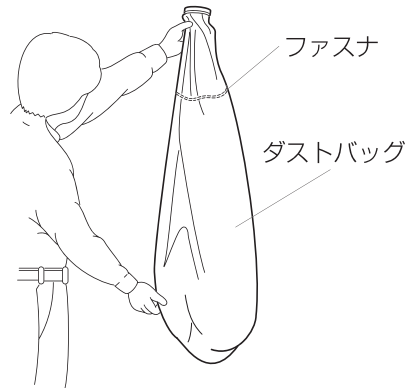
# 使い方

## 粉じんの捨て方

### ⚠警告

粉じんを捨てる場合は、保護メガネと防じんマスクを着用してください。

- ・スイッチを切り、ダストバッグを本機より取りはずします。
- ・ファスナを開いてたまった粉じんを捨ててください。
- ・ダストバッグの内側に付着した粉じんを清掃し、目づまりを取り除いてください。



### 注

- ・ダストバッグにたまった粉じんはこまめに捨ててください。その際、内側のほこりをよくふりはらって取り除いてください。
- ・吸引力が弱まり、効率が悪くなります。
- ・ダストバッグがいっぱいになるまで使わないでください。特に石工ボード等の粉じんは、溜まり過ぎますと重くなります。ダストバッグが持ち運びできる程度か、時々確認してください。

# 別販売品の使い方

## ブロウ作業

別販売品のノズル、カバーをご利用頂くことにより、ブロウ（吹き飛ばし）作業を行なうこともできます。

### ⚠警告

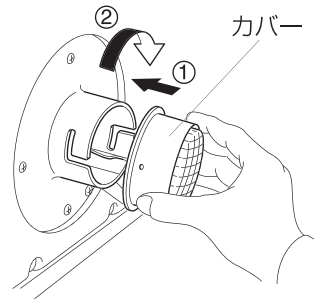
作業中は保護メガネと防じんマスクを着用してください。また必ず安全靴や長ズボンをはいて作業してください。

・小石などが飛び散ったとき、けがの原因になります。

作業中はノズルの先端を人に向けないでください。

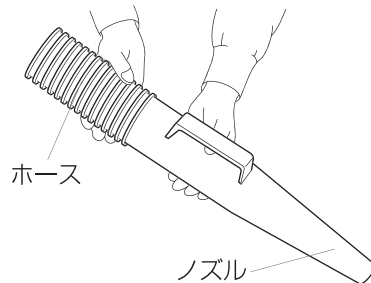
・事故のおそれがあります。

・吸込口にカバーを取り付けてください。



・排出口にホースを取り付け、ホースの先端にノズルを取り付けてください。

・メインスイッチを入れ、ブロウ作業を行なってください。



### 注

ブロウ作業を行なっているときは、吸込口に何も入らないように注意してください。

## 保守・点検について

### 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

・プラグを電源につないだまま行なうと、感電や事故の原因になります。

### ご修理の際は

・修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。



881994A6  
IWT

株式会社マキタ  
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711 (代表)